

2021年度 看護部教育計画 (クリニカルラダー教育)

高石加茂病院 看護部

| 区分 | レベルⅠ | レベルⅡ | レベルⅢ | レベルⅣ | 役職者教育 (主任・師長) | ケアワーカー研修 (看護補助者研修) | 院内研修 |
|-----------------------------|---|--|---------------------------------------|--|---|--|------|
| 到達目標 | 基本的な看護手順に従い、 必要に応じ助言を得て安全な看護実践 をする | 標準的な看護計画に基づき 自立して看護を実践 する | 個別的な看護の実践 をする | 複雑な状況 において、幅広い視野で予測的判断をもち、適切な手段を選択して看護を実践する | | | 院内 |
| | 1 看護の基本的知識・技術・態度を習得し、安全で確実な看護ケアが実践できる | 1 看護過程を踏まえ、受け持ち患者の個別的ケアが実践できる | 1 部署内において看護実践の役割モデルとなる | 1 看護の専門性を発揮できる | 組織の中での役割を理解し、社会的背景を踏まえた問題解決能力・リーダーシップを発揮できる | 病院におけるケアワーカーの役割を理解し、看護師の指示のもと、看護補助業務を実践できる | |
| | 2 チームメンバーとしての役割と責任を果たすことができる | 2 日々の看護業務においてリーダーシップがとれる | 2 様々な場面で状況判断ができリーダーシップを発揮することができる | 2 複雑な場面でリーダーシップを発揮することができる | 看護管理能力を養い、マネジメント力を発揮し、看護の質向上を図る | 看護補助業務内容や技術を習得し、また、 医療チームの一員 としての知識を深め、実践に活かす | |
| | 3 チームメンバーとしての役割と責任を果たすことができる | 3 所属部署や部門活動に参加する | 3 所属部署内の活動や委員会活動等与えられた役割を十分発揮する | 3 部門内の変革や事業推進への役割貢献ができる | 理論的かつ実践的知識を統合したマネジメントのスキルの習得 | 自己の学習課題を個人目標管理シートに挙げ、活動することができる | |
| | 4 自己学習の方法が分かり、実践できる | 4 グループ研究でリーダーの役割ができ、その学びを看護実践に活かす | 4 自己の学習活動に主体的に取り組み、他者に指導的・教育的に関われる | 4 マネジメント能力が備わる | | | |
| | 5 看護研究に参加する | 5 個人目標管理シートに挙げた自己の学習課題に向けた学習活動を展開できる | 5 グループ研究でリーダーの役割ができ、その学びを看護実践に活かす | 5 自己のキャリア開発に向けて計画的に取り組むことができる | | | |
| 6 自己の学習課題を個人目標管理シートに挙げるができる | | 6 自己の学習課題に向けた学習活動が展開でき、看護実践の場面で指導的役割を果たすことができる | 6 自己の学習活動への取り組みのみならず、指導者育成において役割を發揮する | | | | |

| ラダー決定と個人目標管理設定 | | | | | | | | |
|----------------|--|-------------------------------------|-----------------------------------|--|----------------------------------|----------------------------------|---|-----------------------------------|
| 4月 | 新人研修 担当： 穴戸看護部長・児玉・池田・板屋 4/28 | プリセプタシップとプリセプターの役割について 担当： 船曳・外山 | | | | | 『看護補助者の役割と責任』 4/26 担当： 穴戸看護部長 | |
| | 『看護過程と看護記録』 4/19 担当： 看護記録委員会 | | | | | | | |
| 5月 | 『標準予防策』 5/26 担当： 感染委員会 | 『日動リーダーの役割と責務』 5/19 担当： 池田 | | | | | 『看護補助者の役割と責任 (2) 安全』 5/24 担当： 酒井/板屋 | 5/21 介護保険制度について 担当： 橋谷社会福祉士 |
| 6月 | 『コミュニケーションの技術』と『報・連・相』 6/24 担当： 岩崎 | | | | 『施設基準について』 6/28 担当： 穴戸看護部長 | 『ボディメカニクス』 6/28 担当： 中谷/池田 | 6/18 認知症ケア 認知症ケア委員会 医療安全研修① | 7/16 『』 医療安全管理委員会 |
| 7月 | 『メンバーシップ』 7/14 担当： 清家 | 『看護記録監査について』 7/28 担当： 看護記録委員会 | | | 『交渉力』 7/26 担当： 馬場主任 | 『ポジショニング』 7/26 担当： 竹信/板屋 | | |
| 8月 | 8/18 『急変時の看護 (BLS～ACLS)』 担当： ラダーⅢ 3名/教育委員会(岩崎・清家) | | | | 『レジリエンス』 8/23 担当： 池田主任 | 『コミュニケーション』 8/23 担当： 藤井/酒井 | 褥瘡委員会研修①② 8/20 | |
| 9月 | 9/15 『ACLS実践編』 担当： ラダーⅢ 6名/教育委員会 (外山・船曳) | | | | 『問題解決思考』 9/27 担当： 板屋主任 | 『エンゼルケア』 9/27 担当： 有馬/池田 | | |
| | 9/29 『人工呼吸器研修 (業者)』 担当： 看護部医療安全委員会 | | | | | | 感染委員会研修① 9/17 院内感染対策委員会 | |
| 10月 | 『輸液ポンプ・シリンジポンプ取扱い』 10/20 担当： 看護部安全委員会 | | | | 『チームマネジメント』 10/25 担当： 村田主任 | 10/25 『感染症対策』 担当： 峯/児玉 | | |
| | 重症度、医療・看護必要度研修 受講者 ①10/ ②10/ ③10/ | | | | 個人目標管理シート前期評価 及び 後期目標設定 | | | |
| 11月 | | | 『ティーチング・コーチング』 11/17 担当： 外山 | | 11/23 『エンジェルケア』 担当： 酒井主任 | 11/22 『口腔ケアと食事介助』 担当： 上田 / 児玉 | | |
| 12月 | ①12/15 『人工呼吸器の管理』 担当： 看護部安全委員会 | | | | 12/27 『人材育成』 担当： 外山主任 | 12/27 『TKY危険予知訓練』 担当： 高濱/板屋 | | |
| 1月 | | | | | 1/24 『目標管理』 担当： 児玉師長 | 1/24 『接遇マナー』 担当： 寺下/池田 | 感染委員会研修② 1/21 院内感染対策委員会 | |
| 2月 | 2/18 看護研究発表会 担当： 看護研究プロジェクト | | | | | | 医療安全研修② 2/18 医療安全管理委員会 | |
| | ケーススタディ提出 担当： プリセプター/各部署教育委員 | | | | | 2/28 『認知症ケア』 担当： 高原/ 酒井 | | |
| 3月 | 個人目標管理シートとラダー自己評価の自己総括をして3月中旬までに提出し、下旬までに結果を面談で通知 | | | | | | | |

病棟別研修会予定

| 病棟 | 研修会テーマ | 開催日 13時30分より開始 |
|----|------------------|-------------------|
| 外来 | 胃・大腸内視鏡検査の結果について | 6/30 |
| 2階 | フレイルについて | 10/13 |
| 3階 | 身体拘束廃止について | 11/10 |
| 4階 | 胸腔ドレナージについて | 9/8 |